

総合単元名		自分に誠実に		5月～7月	全7時間
めざす子ども				何事にも誠実に、正直な心で生活できる子	中心項目 1—(4)
ねらい				正直に明るい心で、元気よく生活しようとする態度を育てる。	関連項目 1—(3)
<p>単元設定の理由</p> <p>子ども達は、自分がいけなかったことを黙ったまま、ばれなければよいという気持ちをもつことがある。そんな児童の心の中は、周りの目を気にして、怒られるかもしれない、責められるかもしれないという不安な気持ちがある。そこで、自分自身に誠実になれば、よい友達関係を築くことができると気付かせ、正直に明るい心で元気よく生活しようとする態度を育てたいと考え、本単元を設定した。</p>					
時期	教科・特別活動 総合的な学習の時間等	道徳の時間	常時活動 家庭との連携	子どもの意識の深まり	
5月	①学級活動 5月(1時間) 「学級会を開こう」 学級の諸問題について話し合うことができる。	②<正直・明朗> 1—(4)5月(1時間) 「ぼくはMVP」(本時) みんなが大喜びしているときの「こうちゃん」の気持ちを考えることを通して、自分に不利なことでも正直に本当のことを言うことの大切さに気づき、明るい心で元気よく生活しようとする心情を育てる。	(◆係当番活動) 忘れている友達に声をかけながら当番活動をすることができる。	①正しいことがきちんとと言えるような雰囲気になったらしい。	
	③算数科 5月(1時間) 「わりざん」 難しいところや分からないところがあっても素直に質問しながら学習することができる。			②自分の都合で黙っていてもいい気持ちにならないんだな。	
6月	⑤体育科 6月(1時間) 「浮く・泳ぐ運動」 苦手な泳ぎ方でも、友達のアドバイスを素直に聞き入れ、練習することができる。	④<勇氣> 1—(3)6月(1時間) 「心に響くかねの音」 ゲオルグたちが怒っているのを見たときのアルベルトの気持ちを考えることを通して、人に流されず自分で判断するよさに気づき、正しいことは勇氣をもって行おうとする心情を育てる。	(★帰りの会) 正直に自分のことが言えているか振り返ることができる。	③分からないところは分からないと言うほうがいいな。	
	⑦学級活動 7月(1時間) 「1学期の振り返り」 1学期の生活を振り返ることができる。			◆忘れている友達や遊んでいる友達には声をかけて仕事をしてもらったほうがいいな。	
7月	⑦学級活動 7月(1時間) 「1学期の振り返り」 1学期の生活を振り返ることができる。	⑥<正直・明朗> 1—(4)6月(1時間) 「百点を10回とれば」 てつろうが間違いに気づいた時の気持ちを考えることを通して、のびのびとした生活の良さに気づき、自分の心に正直になろうという態度を育てる。	(■心のノート) 生活の中で、自分が正直になれたことについて振り返ることができる。	④いけないことはいけないと言うことが大事なんだな。	
	何事にも誠実に、正直な心で生活できる子			⑤〇〇くんがしてくれたことを意識して練習したら、上手になったよ。素直に聞くっていいな。	
★今までの自分はどうか。正直に言えた時は、いい気持ちになるんだな。					
⑥ごまかすのってもやもやしていやだな。正直に言うとなっきりしたよ。これからは、正直に言おう。					
■自分のしたことを正直に言えたよ。その時、いい気持ちになったよ。これからも続けていけるといいな。					
⑦1学期を振り返ってみて、自分に正直に生活するとみんな気持ちよく生活できると分かったよ。2学期も続けていこう。					

「道徳の時間」学習指導案

指導者 森田 育世

- 1 日時 2012年(平成24年)5月10日(木) 第5校時
- 2 学年 第4学年1組 男子12名 女子10名 計22名
- 3 主題名 正直な心
中心項目 1-(4) 〈正直・誠実, 明朗〉
関連項目 1-(3) 〈勇気〉
- 4 ねらい みんなが大喜びしているときの「こうちゃん」の気持ちを考えることを通して、自分に不利なことでも正直に本当のことを言うことの大切さに気付き、明るい心で元気よく生活しようとする心情を育てる。
- 5 資料名 ぼくはMVP (出典:「新しいどうとく」 光文書院)
- 6 主題設定の理由
 - 人は必ず失敗や挫折をしながら成長する。また、誰でも自分自身をごまかさず、ありのまま正直に生きていきたいと思っている。そして、正直で誠実な言動は、周囲との人間関係を良好にさせる。
この時期の児童には、失敗や間違いをしたとしても、正直で誠実に生きていこうとする気持ちを持たせることが必要である。そこで、自分自身に誠実になることは、自分自身が明るい気持ちで過ごせ、友達関係も良好にできることに気付かせ、正直に明るい心で元気よく生活しようとする態度を育てたいと考え、本単元を設定した。
 - 本学級の児童は、毎日明るく元気に学校生活を送っている。しかし、自分がしたことに対して、本当のことを言わない傾向が見られる。例えば、嫌いな給食を黙って残したままにしたり、友達に対していけないことをしても、言い訳をして素直に謝れなかったりしている。
このことは、事前アンケート「自分は、うそをついたりごまかしたりしないで生活している」に対して、肯定的評価が77%、「友達に対してうそをついたりしないで生活している」に対して68%にとどまっていることからもうかがえる。友達から自分のいけないことを言われて、正直に話すことができず、言い合いになっている場面も見られる。
児童の中には、本当のことを言って怒られることが嫌だから言えないと思っている児童がいる。その児童は、自分がしたことについて、正直に言えていないことがあった。
 - 本資料は、次の3つの場面で構成されている。
 - 1 主人公の「ぼく」は、休憩時間にドッジボールをしていて、ボールが足をかすったが、誰も気づいていないので、どうしようか迷うがだまされたままゲームを続ける。
 - 2 ゲームを続けているうちに、「ぼく」が一人コートに残った。
 - 3 「ぼく」のチームが勝ち、みんなで大喜びするが、「ぼく」は、とんでもないことをしたような気分になった。これらの場面を通して、「ぼく」の心の葛藤に共感させ、正直に言うことの大切さについて考えることができる資料である。
指導にあたっては、導入場面で、ドッジボールの楽しい経験を想起させ、意欲付けを行い、資料につなげていく。展開前段では、本当のことを言おうか迷っている「ぼく」の気持ちをおさえる。中心発問では、「ぼく」だけが気が重かった時の気持ちを考えさせ、正直に言わないでいる苦しさや後ろめたさに気付かせ、正直に言うことの大切さに気づかせたい。その際、ワークシートを活用して自分の思いをしっかりとまとめさせる。その後、ペアトークを取り入れることで、自信を持って発表できるようにさせる。終末前は、心のノートに、正直に言おうとする心、正直に言えない心が勝つとどんな気持ちになるか書き込ませる。
「伝え合う」については、ワークシートやペアトークでまとめた自分の思いや考えを全体に出し、お互いの思いを交流するという段階である。
- 7 準備物 場面絵、ワークシート、心のノート

8 学習過程

	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	支援(○)・評価(★)・改善点(◎)
導 入	1 ドッジボールをしているときの気持ちについて話し合う。	○ドッジボールをしているとき、どんな時が楽しいですか。 ・友達を当てることができたとき。 ・自分のチームが勝ったとき。	○ドッジボールの楽しい経験を想起させ、意欲付けを行う。
展 開	2 資料の前段を聞き、「ぼく」の気持ちを考える。	○ただしくんが、「ぼく」の足にボールが当たったことが見えなかったと分かったとき、「ぼく」はどんな気持ちになったでしょう。 ・ボールが当たったことがばれていないからこのままだまっていようかな。 ・当たったと言った方がいいかな。 ・勝ちたいから、当たったと言わない方がいいかな。	○本当のことを言おうか迷っている気持ちをおさえる。
	3 資料後段を聞き、気が重い「ぼく」の気持ちを考える。	◎やはり一人だけ気が重かった時、「ぼく」は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ・勝ってもあまりうれしくないんだ。 ・本当は当たっていたのに・・・ ・このまま黙っていていいかな。 ・MVPと言われても、当たったんだよな。 ・本当のことを言っていないから、もやもやするな。 ・今、当たったと言おうかな。 [補助発問] ●ボールがあたったことがばれていないのに、「ぼく」はどうして一人だけ気が重かったのでしょうか。 ・自分が本当のことを言わなかったから。 ・正直に言っていないからもやもやしている。 ・正直に言っていればもやもやしていなかったのかな。 ・当たったと言ったらすっきりしていただろうな。	◎ワークシートにより、ぼくの気持ちについてじっくり考えさせる。ペアトークを行い、自信を持って発表できるようにさせる。
	4 自分の生活を振り返る。	○正直に言えた時、どんな気持ちになりましたか。 ・廊下を走ったと正直に言ったら、気持ちがよくなった。 ・宿題を忘れたことを先生に言うとしゅーとした。	☆自分に不利なことでも正直に本当のことを言うことの大切さに気付くことができたか。
終 末	5 説話を聞く。		○正直に言うといいなという余韻を残して終わるようにする。

9 板書計画

いい気持ち

すっきり
自分の心がかかる
すーっとする

ぼくは MVP
ドッジボール
をしている絵

どうしようかとちよっとまよった

一人だけ気が重かった

・勝つてもあまりうれしくないんだ。
・本当は当たっていたのに・
・このままだまっていた方がいいかな。
・本当のことを言っていないから、もやもやするな。
・今、当たったと言おうかな。

もやもやした
気持ち

・ボールが当たったことがばれていないからこのままだまっていた方がいいかな。
・当たったと言った方がいいかな。
・勝ちたいから、当たったと言わない方がいいかな。

・自分が本当のことを言わなかったから。
・正直に言っていないからもやもやしている。

10 ワークシート

ぼくは MVP
名前()
「ぼく」は、やはり一人だけ気が重かった時、
どんな気持ちだったのでしょうか。

ぼくの絵

今日の学習をふりかえって、考えたことを書きましょう。